

平成17年第1回潟上市議会定例会会議録（第4日）

○開 議 平成17年 6月20日 午前10:00

○散 会 午前10:47

○出席議員（50名）

1番 二田 功	2番 菅原 伊佐美	3番 千田 正英
4番 鑑 則夫	5番 佐藤 富夫	6番 菅原 勉
7番 吉田 義雄	8番 門間 兵一郎	9番 児玉 春雄
10番 佐々木 松雄	11番 千種 清一	12番 佐藤 昇
13番 大谷 貞廣	15番 富樫 鉄蔵	16番 佐藤 義久
17番 淡路 五十一	18番 藤原 幸作	19番 鎌田 久
20番 伊藤 金英	21番 村井 政克	22番 佐藤 正信
23番 後藤 一志	24番 伊藤 博	25番 佐藤 忠悦
26番 澤井 昭二郎	27番 菅原 久和	28番 佐藤 恵佐雄
30番 西村 武	31番 奈良 与三郎	32番 成田 進
33番 菅原 市郎	34番 土肥 茂宏	35番 鑑 仁志
36番 武藤 守	37番 小林 友明	38番 藤原 幸雄
39番 佐藤 傳一郎	40番 嶋田 満雄	41番 菅原 俊雄
42番 大澤 一義	43番 鈴木 組子	44番 堀井 克見
45番 佐藤 幸孝	46番 藤原 典男	47番 伊藤 栄悦
48番 徳原 恭一	49番 菅原 権悦	50番 阿部 幸基
51番 門間 英也	52番 赤平 末次郎	

○欠席議員（1名）

29番 菅原 養太郎

○欠 員（1名）

14番

○説明のための出席者

市長	石川光男	教育長	小林洋
総務部長	大越宏	企画部長	鑑利行
産業建設部長	伊藤賢志	市民生活部長	菅生一也
福祉保健部長	門間鋼悦	教育次長	千種肇
総務課長	鈴木公悦	総合政策課長	鈴木司
財政課長	澤井昭	税務課長	伊藤正
産業課長	山口義光	建設課長	鈴木利美
都市整備課長	鎌田洋一	会計課長	櫻庭新悦
収納課長	中泉作右衛門	追分出張所長	鈴木久雄
財政課長待遇	三浦喜博	下水道課長	藤原貞雄
水道課長	小林健一	総務学事課長	佐藤磐
市民課長	宮田隆悦	社会福祉課長	児玉俊幸
農業委員会事務局長	石黒敬二郎	幼児教育課長	田仲茂隆
生活環境課長	鈴木鋼生	健康課長	川上秀佐男
生涯学習課長	丸谷昇	スポーツ振興課長	根一
国体事務局長	菅原徳志	高齢福祉課長	門間裕一
飯田川庁舎総合窓口センター長	山平東	昭和庁舎総合窓口センター長	佐々木博信
天王庁舎総合窓口センター長	伊藤清孝		

○議会事務局職員出席者

議会事務局長	肥田野耕二	議会事務局課長待遇	伊藤正吉
--------	-------	-----------	------

平成17年第1回潟上市議会定例会日程表（4日目）

平成17年6月20日 午前10時開議

会議並びに議事日程

- 日程第 1 議案第19号 秋田県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び秋田県市町村総合事務組合規約の一部変更について
- 日程第 2 議案第20号 秋田県市町村会館管理組合を組織する地方公共団体の数の減少について
- 日程第 3 議案第21号 平成17年度潟上市農業集落排水事業特別会計への繰り入れについて
- 日程第 4 議案第22号 平成17年度潟上市下水道事業特別会計への繰り入れについて
- 日程第 5 議案第23号 平成17年度潟上市合併処理浄化槽事業特別会計への繰り入れについて
- 日程第 6 議案第24号 平成17年度潟上市一般会計予算（案）について
- 日程第 7 議案第25号 平成17年度潟上市国民健康保険事業特別会計予算（案）について
- 日程第 8 議案第26号 平成17年度潟上市老人保健特別会計予算（案）について
- 日程第 9 議案第27号 平成17年度潟上市介護保険事業特別会計予算（案）について
- 日程第10 議案第28号 平成17年度潟上市有線放送事業特別会計予算（案）について
- 日程第11 議案第29号 平成17年度潟上市農業集落排水事業特別会計予算（案）について
- 日程第12 議案第30号 平成17年度潟上市下水道事業特別会計予算（案）について
- 日程第13 議案第31号 平成17年度潟上市合併処理浄化槽事業特別会計予算（案）について

- 日程第 1 4 議案第 3 2 号 平成 1 7 年度潟上市豊川財産区特別会計予算（案）について
- 日程第 1 5 議案第 3 3 号 平成 1 7 年度潟上市下虻川財産区特別会計予算（案）について
- 日程第 1 6 議案第 3 4 号 平成 1 7 年度潟上市和田妹川財産区特別会計予算（案）について
- 日程第 1 7 議案第 3 5 号 平成 1 7 年度潟上市飯塚財産区特別会計予算（案）について
- 日程第 1 8 議案第 3 6 号 平成 1 7 年度潟上市土地取得事業特別会計予算（案）について
- 日程第 1 9 議案第 3 7 号 平成 1 7 年度潟上市水道事業会計予算（案）について

午前10時00分 開議

○議長（赤平末次郎） おはようございます。

ただいまの出席議員は50名でございます。29番の菅原養太郎議員は病氣療養中のため欠席でございます。もちろん定足数に達しておりますので、これより平成17年第1回潟上市議会定例会を再開致します。

これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配布したとおりでございます。

【日程第1、議案第19号 秋田県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び秋田県市町村総合事務組合同規約の一部変更について】

○議長（赤平末次郎） 日程第1、議案第19号、秋田県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び秋田県市町村総合事務組合同規約の一部変更についてを議題と致します。

これより議案第19号について質疑を行います。質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（赤平末次郎） 質疑がないようですので、これで質疑を終わります。

議案第19号については、総務委員会に付託致します。

【日程第2、議案第20号 秋田県市町村会館管理組合を組織する地方公共団体の数の減少について】

○議長（赤平末次郎） 日程第2、議案第20号、秋田県市町村会館管理組合を組織する地方公共団体の数の減少についてを議題と致します。

これより議案第20号について質疑を行います。質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（赤平末次郎） 質疑がないようですので、これで質疑を終了致します。

議案第20号については、総務委員会に付託致します。

【日程第3、議案第21号 平成17年度潟上市農業集落排水事業特別会計への繰り入れについて】

○議長（赤平末次郎） 日程第3、議案第21号、平成17年度潟上市農業集落排水事業特別会計への繰り入れについてを議題と致します。

これより議案第21号について質疑を行います。質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（赤平末次郎） 質疑がないようですので、これにて質疑を終了致します。

議案第21号については、産業建設委員会に付託致します。

【日程第4、議案第22号 平成17年度潟上市下水道事業特別会計への繰り入れについて】

○議長（赤平末次郎） 日程第4、議案第22号、平成17年度潟上市下水道事業特別会計への繰り入れについてを議題とします。

これより議案第22号について質疑を行います。質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（赤平末次郎） 質疑がないようですので、質疑を終了致します。

議案第22号については、産業建設委員会に付託致します。

【日程第5、議案第23号 平成17年度潟上市合併処理浄化槽事業特別会計への繰り入れについて】

○議長（赤平末次郎） 日程第5、議案第23号、平成17年度潟上市合併処理浄化槽事業特別会計への繰り入れについてを議題とします。

これより議案第23号について質疑を行います。質疑ございませんか。はい、30番西村議員。

○30番（西村 武） 市長の施政方針にありましたけれども、関連するのかどうかよくわかりませんが、まずこれは新規事業、合併処理浄化槽事業ですけれども、これは公共下水道、あるいは農業集落排水事業では地理的にコストが高くなるということで、その区域が今回の合併浄化槽になるというようなことですが、住宅では200戸分対象のうち、今年度予算では33か所だと。そのうち17か所分の補助内示を受けているということで施政方針には掲げておりますけれども、この区域外、計画区域外というのはどこの地域なのか。それと、200戸分の処理計画は、これは何年で行うのか。あるいは住民に対する説明はどのようになっているのか。住民の負担金はどうなっているのか、その辺のところについてお聞きしたいんですけれども。

○議長（赤平末次郎） 答弁はどなたが致しますか。はい、伊藤部長。

○産業建設部長（伊藤賢志） お答えします。

合併処理浄化槽のことですけれども、区域というのは主に旧昭和町の豊川地区の山間部、白洲野地区、それから大清水地区の国道7号線沿いの集落などです。事業主体は市で、浄化槽は市で設置します。それから、費用負担については事業費の3分の1が国庫

補助、住民負担は10分の1ほどであります。

それから、今年度要望33戸に対し17戸の補助内示を受けており、残分は今後、交付金事業の対象にて内示の予定となっております。

それから、住民説明会はこれまで2度ほど行いまして、該当する地区すべての住民を対象に実施しております。今年度実施見込みは30戸以上まいっておりますが、一番の問題として放流先のない地区、大清水、白洲野の砂丘地帯の方々から、浸透枳分の住民負担について市で考えてもらいたいとの意見がありました。

以上です。

○議長（赤平末次郎） はい、30番西村議員。

○30番（西村 武） ここまでできますと、今の下水道事業に入るかと思えますけれども、関連でちょっとだけ聞いてみます。

下水道普及率が77.6%になっていますね。その中で、この後の計画、例えば天王の羽立北野のあたりは今後どのような方針で計画されているものか教えてもらえますか。あとは委員会の方でお聞きしたいと思います。

○議長（赤平末次郎） 伊藤部長。

○産業建設部長（伊藤賢志） お答えします。

現在は、合併処理浄化槽の申請時は旧昭和町ということで対象にしておりますけれども、将来、潟上市全体に処理区域を移行したいということです。ただ、羽立地区の方は下水区域にも入っていますので、これからまず下水道との関連というか関係を調べて、住民負担にならないような補助対策、事業対策を考えていきたいと思えます。

以上です。

○議長（赤平末次郎） 市長、よろしいですか。市長。何かいいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（赤平末次郎） ほかに質疑がないようですので、これで質疑を終了致します。

議案第23号については、産業建設委員会に付託致します。

【日程第6、議案第24号 平成17年度潟上市一般会計予算（案）について】

○議長（赤平末次郎） 日程第6、議案第24号、平成17年度潟上市一般会計予算（案）についてを議題と致します。

これより議案第24号の大綱について質疑を行います。質疑ございませんか。30番西村

議員。

○30番（西村 武） これも施政方針の中にありますけれども、11ページ、予算に関連しますけれども、予算書では96ページになります。今回は大豆転作用地面積が520ヘクタールとなっていますけれども、これは潟上市全域なのかどうかということが1点ですね。

それと予算の関連で、96ページに転作大豆振興対策助成費というのが544万6,000円となっておりますけれども、この事業はおそらく卵殻エースの事業ではないかなと思えますけれども、これは潟上市全体の予算なのかどうか、その辺のところをひとつお聞かせいただきたいと思えます。

それから施政方針の中で、これは12ページ、漁業関連振興に関連して地方卸売市場誘致の件ですけれども、これは旧天王町、あるいは旧天王町議会が一体となって建設候補地への誘致活動を展開してきたわけでございますけれども、今回は男鹿市漁港に敷地が選定されたようになっておりますが、それは確定的なものかどうかということですね。それと天王地区が選定されなかった理由。誘致を一生懸命頑張ったけれども選定されない、そういう理由は何なのかと。もう一つは、男鹿市漁協敷地が選定されたという、理由ですね。どちらの理由もひとつわかったらお聞かせしていただきたい、と思えます。

○議長（赤平末次郎） 答弁はどちらが致しますか。はい、山口産業課長。

○産業課長（山口義光） はじめの大豆の方の関係でございますが、3町が一緒になり大豆生産については旧3町それぞれ地域の特色がある農業をやっております。大豆の振興対策補助金544万5,000円につきましては、天王地区でこれまで行われてきております大豆に対しては無人ヘリの散布助成、あるいは土地改良土壌の改良剤の助成ということでございまして、全体的な助成スタイルにということもありますけれども、現在のこの予算の中では天王地域に限った形ということになっております。

それから、市場の関係ですけれども、これにつきましては正式な決定というか、文書はございませんでしたけれども、こちらの方からの問い合わせした結果、男鹿市の方に決まったという候補地に挙げられたということで承っております。

その選考の理由につきましては、構成する漁業組合の中でいろいろ協議したことだと思いますけれども、最終的には男鹿市の船川の方に候補地を選定したいということでございます。

この後については事業費もかなりかさむこともありますので、この後については協議

の中でどのように進展していくのか見届けていかなければいけない、という段階でございますので、宜しくお願いしたいと思います。

○議長（赤平末次郎） はい、石川市長。

○市長（石川光男） 卸売市場の件については、ただいま課長が答弁致しましたが、24日に県漁連の会長と旧天王の江川漁港の組合長が、今、副会長ですが、この2人が私に会いたいという申し込みがありますので、その時点でわかると思います。

以上です。

○議長（赤平末次郎） はい、30番西村議員。

○30番（西村 武） それで、先ほどの転作大豆の件ですけれども、この卵殻エース事業ですけれども、これはですね、昨年も旧天王町議会で議題となりました。その中で、土壌改良の成果なるものを議会で示すような話をしておりました。まず、天王地区の農家の皆さんは、これは農家負担もありまして、「あまり好ましくない事業だ」と言っておりますけれども、当局は、その辺のところをどのように感じているのか。いずれ効果があるという証明を出すということも申されておりましたので、どうかひとつ委員会の方にそのような資料がありましたら議長を通して提出していただきたいと思います。そしてまた、委員会の方で詳しく審査をしていただきたい。

また、先ほど市長からも答弁がありましたように、大体話はわかりましたけれども、まず今後、頑張りによってはまだ確定的なものではないかなと思いますので、ひとつ大いに頑張ってくださいということをお願いします。

以上です。

○議長（赤平末次郎） はい、石川市長。

○市長（石川光男） 今の卵殻エースの件でございますが、これは施政方針にも申し上げましたけれども水田利用協議会が旧3町にあります。それで米の改革大綱に基づいて16年から17年、18年の3か年はそれぞれ旧3町で行うということを申し上げました。したがって、この卵殻エースの米についても、旧天王町の協議会ではいろいろご意見がありましたけれども、総体的には卵殻エースは必要だというような決定をいただいて予算計上しているということもご理解願えればありがたいと思います。

○議長（赤平末次郎） よろしいですか。

ほかに質疑ございませんか。46番藤原議員。

○46番（藤原典男） おはようございます。

17年度予算の地方交付税について伺います。

旧3町の合併前の地方交付税より9億3,468万4,000円多くなっている。なぜこういうふうになったのかと。また、来年度以降もこの地方交付税がどうなっていくのか、その見通しについて伺いたいと思います。

それから予算書の15ページのところですけれども、市の税の滞納繰越分と、それから固定資産税の繰越金の見通しはどうか、何を根拠にしてこういうふうにしたのかということ伺いたいと思います。

それから施政方針の15ページの道路整備について伺います。

2か年計画で道路台帳整備をつくるということでしたけれども、危険箇所の把握、これは主に通学路、緊急にやらなければいけないということもあると思いますけれども、それについての対応等、道路台帳整備をつくるのが一生懸命になって、危険箇所の把握とか緊急にやらなければいけないことをおろそかになるんじゃないかという懸念もありますけれども、どういうふうに平行してやっていくのか、考え方について伺いたいと思います。

以上です。

○議長（赤平末次郎） 答弁はどなたが致しますか。はい、企画部長。

○企画部長（鑑 利行） 藤原典男議員にお答え申し上げます。

このたびの地方交付税の増額の要因についてのご質問でございますけれども、地方交付税については普通交付税と特別交付税の2本立てからなっていることは藤原議員もご承知のとおりでございます。それで、このたび地方交付税が増えた要因は、特別交付税の包括的特別交付税というのがございます。これは合併に伴う地方交付税、特別交付税として財源運用上の交付税でございます。それが増えた関係上、地方交付税が施政方針でも、予算の大綱でも説明したとおり伸びております。

以上で説明を終わります。

○議長（赤平末次郎） はい、伊藤部長。

○産業建設部長（伊藤賢志） 藤原議員の道路関係について申し上げます。

道路の台帳整備、これは3町で縮尺から現況把握から路線そのものまですべて異なるということで、これを2か年事業でやるのですが、主に今年度は現況の起図ということでございます。それから航空写真撮影というものがございます。

ただ、先ほど質問にありました生活道路に関してはどうするかということですが

も、当然、道路に関しては新設、それから維持改修事業というものが毎年ございます。私、建設部長を拝命してから毎日時間があれば生活道路の把握に努めております。建設課長共々、毎日時間が許す限り生活道路を見て歩いてますけれども、それぞれ旧3町から地域要望、継続事業がございます。それで今そちらの方の優先順位というか、危険性、緊急性その他を見ながら今年度予算には約6路線計上してございます。これから順次年次計画を立てまして、当然、道路台帳、道路網の整備の中でも考えておりますけれども、緊急的に必要なもの、それから先日ご質問ありました通学路を含めて、通学路が附帯している道路に関しても必要以上に住民の方々が危険を感じる場所等々がございます。年次計画立てまして、これから皆さんにもお示ししながら整備したいと考えておりますので、宜しくお願いします。

○収納課長（中泉作右衛門） 収納課長です。

滞納繰越分の市税についてお答え致します。

全体額が8,100万円、そして予算見積もり額が全体の10%で9,900万円であります。それと、固定資産税の方では全体額が1億4,300万円、これの10%で1,600万円の予算計上であります。これは、3町合わせての前年実績のパーセンテージを用いております。これは、予算書の実数に近い、できるだけ努力しますけれども大体このぐらいが妥当な金額じゃないかと思って挙げました。宜しくお願いします。

○議長（赤平末次郎） はい、石川市長。

○市長（石川光男） 交付税の約9億円増えた理由について今部長が申し上げましたが、いわゆる福祉事務所関係と合併関係の交付税が増えた。それから、これからの見通しについては、ただいま国の方で三位一体改革の中で議論を進めて、この後、骨太の第4の方針が出るということでございますので、来年の地方交付税がどうなるかということについてはまだわかっておりません。

それと道路台帳の整備、これは何千万とかかるわけですが、これは査定の段階で、今までの旧3町の道路整備を、道路台帳を整備できないかと、私そっちの方のあまり詳しくはないのですが、やっぱり合併を機に、これから交付税の基準たる道路台帳は必要であるということと、これからのいわゆる都市計画見直し等々についても道路台帳、あるいは後で下水道台帳も出てきますけれども、そういう台帳をきちんとしておくべきだという観点から今回計上させていただいたものですので、どうか宜しくお願いします。

○議長（赤平末次郎） よろしいですか。

ほかに質疑ございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(赤平末次郎) ほかに質疑がないようでございますので、これにて質疑を終了致します。

議案第24号については、各常任委員会にかかわる各所管の事項について付託致します。

【日程第7、議案第25号 平成17年度潟上市国民健康保険事業特別会計予算(案)について】

○議長(赤平末次郎) 日程第7、議案第25号、平成17年度潟上市国民健康保険事業特別会計予算(案)についてを議題とします。

これより議案第25号の大綱について質疑を行います。質疑ございませんか。はい、46番藤原議員。

○46番(藤原典男) 保健事業費について伺います。

施政方針では早朝の総合健診が始まったことについて触れられておりましたけれども、それは健診料が高い天王町に統一したということを知って良かったと思っておりますが、この後の人間ドックの取り組みについて触れておりませんでした。今まで70%の補助金とかそういうふうなことを出していたようですけれども、これに対する取り組みはどうしていくのか、人数枠も含めて今後の人間ドックに対する、今年度だけでなく来年度も含めた取り組みの考え方について伺いたいと思います。

以上です。

○議長(赤平末次郎) はい、宮田課長。

○市民課長(宮田隆悦) 人間ドックの件についてお答え致します。

人間ドックについては、平成17年度については日帰りドックが80名と、それから一泊が40名でございます。費用の負担につきましては、国保と同じで3割負担を考えておりますので、ひとつ宜しくお願いします。

以上です。

○議長(赤平末次郎) ただいまの説明でよろしゅうございますか。はい、46番。

○46番(藤原典男) この3割負担というのは日帰りも、それから一泊もどちらも3割負担ということですか。

○議長(赤平末次郎) 宮田課長。

○市民課長(宮田隆悦) 負担割合については、日帰りも一泊も同じく考えておりますの

で、ひとつ宜しくお願い致します。

○議長（赤平末次郎） よろしいですか。はい、46番。

○45番（藤原典男） 旧町の補助率から比べて3割となれば後退だと私は思うんですけども、今後どういうふうこれを引き上げていくのか。今まで旧天王町は70%扶助というふうなことをやってきましたけれども、大幅なダウンですので、今後、今年はどういうふうになるかどうかわかりますけれども、今後の見通しはね、やはり補助率を少なくしていくということを前提にしてやっていかなければいけないと思うんですけども、今後の取り組みについてちょっと伺いたいと思います。

○議長（赤平末次郎） はい、石川市長。

○市長（石川光男） 補助率は今までどおりの方針でやっていくと、今課長が申しあげました。

○議長（赤平末次郎） いいですね。

（「はい」の声あり）

○議長（赤平末次郎） ほかに質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（赤平末次郎） ほかに質疑ないようですので、質疑をこれで終了致します。

議案第25号については、社会厚生委員会に付託致します。

【日程第8、議案第26号 平成17年度潟上市老人保健特別会計予算（案）について】

○議長（赤平末次郎） 日程第8、議案第26号、平成17年度潟上市老人保健特別会計予算（案）についてを議題とします。

これより議案第26号の大綱について質疑を行います。質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（赤平末次郎） 質疑がないようですので、これにて質疑を終了致します。

議案第26号については、社会厚生委員会に付託致します。

【日程第9、議案第27号 平成17年度潟上市介護保険事業特別会計予算（案）について】

○議長（赤平末次郎） 日程第9、議案第27号、平成17年度潟上市介護保険事業特別会計予算（案）についてを議題とします。

これより議案第27号の大綱について質疑を行います。質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（赤平末次郎） 質疑がないようですので、これにて質疑を終了致します。

議案第27号については、社会厚生委員会に付託致します。

【日程第10、議案第28号 平成17年度潟上市有線放送事業特別会計予算（案）について】

○議長（赤平末次郎） 日程第10、議案第28号、平成17年度潟上市有線放送事業特別会計予算（案）についてを議題とします。

これより議案第28号の大綱について質疑を行います。質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（赤平末次郎） 質疑がないようですので、これにて質疑を終了致します。

議案第28号については、社会厚生委員会に付託致します。

【日程第11、議案第29号 平成17年度潟上市農業集落排水事業特別会計予算（案）について】

○議長（赤平末次郎） 日程第11、議案第29号、平成17年度潟上市農業集落排水事業特別会計予算（案）についてを議題とします。

これより議案第29号の大綱について質疑を行います。質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（赤平末次郎） 質疑がないようですので、質疑を終了致します。

議案第29号については、産業建設委員会に付託致します。

【日程第12、議案第30号 平成17年度潟上市下水道事業特別会計予算（案）について】

○議長（赤平末次郎） 日程第12、議案第30号、平成17年度潟上市下水道事業特別会計予算（案）についてを議題とします。

これより議案第30号の大綱について質疑を行います。質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（赤平末次郎） 質疑がないようですので、質疑を終了致します。

議案第30号については、産業建設委員会に付託致します。

【日程第13、議案第31号 平成17年度潟上市合併処理浄化槽事業特別会計予算（案）について】

○議長（赤平末次郎） 日程第13、議案第31号、平成17年度潟上市合併処理浄化槽事業特別会計予算（案）についてを議題とします。

これより議案第31号の大綱について質疑を行います。質疑ございませんか。46番藤原議員。

○46番（藤原典男） 合併槽の取り組みですけれども、これは2005年5月の147通常国会で環境問題含めて国会で決まったことですのでけれども、これについては国からの補助が、今また法律が変わっていないとすれば40%だと思うんですよ。それで、私もいろんな各自治体の補助率を調べてみましたけれども、今回、前もって住民説明会の中では住民の方は1割負担というふうなことになってはいますけれども、これはもうかなりの前進だと思うんですけども、なぜこのような補助率というか補助額を出すことができたのかというふうなことを聞きたいと思います。

それから、また希望する方にはね、今後補正予算などで対応する考え方があるのかどうか、それをお聞きします。

○議長（赤平末次郎） はい、下水道課長。

○下水道課長（藤原貞雄） 下水道課長の藤原です。

私から合併浄化槽の補助率関係の質問に対してお答え致します。

合併浄化槽事業の補助率は3分の1でございます。お尋ねの40%ということですのでけれども、国の方から3分の1の補助率となつてございます。

それから、合併浄化槽事業での今後の取り組みですが、先ほど部長の方からもお話しがありましたけれども33戸の要望を国の方に致しております。その33戸のうち、現在、国の方から補助の内示を受けておりますのは17戸分です。その残は、ということですのでけれども、国の方で示されている交付金事業というものがございます。これに地域再生計画等を明示しまして要望してまいります。

以上です。

○議長（赤平末次郎） ただいまの説明でよろしゅうございますか。46番藤原議員。

○46番（藤原典男） 国の補助率についてはわかりました。住民説明会の中では「個人負担は約1割となります」とありますけれども、聞きたかったのは、なぜこういうふうにすることができたのかということなんです。市の努力でですね。そこら辺を聞きたいと思うんです。

○議長（赤平末次郎） 藤原下水道課長。

○下水道課長（藤原貞雄） 回答がかみ合ってなくて誠に申しわけありません。

なぜ10分の1にできたかということですのでけれども、集排、それから公共下水といろいろ

る他の事業もございます。当然、受益者負担というものがまずかかります。この合併浄化槽そのものの負担と致しましては、申し上げたとおり10分の1の負担となっております。1戸当たりの浄化槽は、平均でいいますと100万ほどかかります。10分の1ということで10万ほどの負担なんですけれども、公共下水や集排の負担から見れば若干安くなっておりますが、浄化槽事業そのものにかかわる別工事というものが発生する可能性がございます。というのは放流先の件で、放流先がなければ宅地内に浸透のもの、それから独自に自分で負担してやらなければならない単独の分がございますので、それらも含めまして10分の1が妥当であろうということで決めております。

以上です。

○議長（赤平末次郎） よろしいですか。

ほかに質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（赤平末次郎） 質疑がないようですので、これにて質疑を終了致します。

議案第31号については、産業建設委員会に付託致します。

【日程第14、議案第32号 平成17年度潟上市豊川財産区特別会計予算（案）について】

○議長（赤平末次郎） 日程第14、議案第32号、平成17年度潟上市豊川財産区特別会計予算（案）についてを議題とします。

これより議案第32号の大綱について質疑を行います。質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（赤平末次郎） 質疑がないようですので、質疑を終了致します。

議案第32号については、産業建設委員会に付託致します。

【日程第15、議案第33号 平成17年度潟上市下虻川財産区特別会計予算（案）について から 日程第17、議案第35号 平成17年度潟上市飯塚財産区特別会計予算（案）について】

○議長（赤平末次郎） 日程第15、議案第33号、平成17年度潟上市下虻川財産区特別会計予算（案）についてから日程第17、議案第35号、平成17年度潟上市飯塚財産区特別会計予算（案）についてまでを一括議題と致します。

これより議案第33号から議案第35号まで一括して質疑を行います。質疑ございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(赤平末次郎) 質疑がないようですので、質疑を終了致します。

議案第33号から議案第35号については、総務委員会に付託致します。

【日程第18、議案第36号 平成17年度潟上市土地取得事業特別会計予算(案)について】

○議長(赤平末次郎) 日程第18、議案第36号、平成17年度潟上市土地取得事業特別会計予算(案)についてを議題と致します。

これより議案第36号の大綱について質疑を行います。質疑ございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(赤平末次郎) 質疑がないようですので、質疑を終了致します。

議案第36号については、総務委員会に付託致します。

【日程第19、議案第37号 平成17年度潟上市水道事業会計予算(案)について】

○議長(赤平末次郎) 日程第19、議案第37号、平成17年度潟上市水道事業会計予算(案)についてを議題とします。

これより議案第37号の大綱について質疑を行います。質疑ございませんか。

○37番(小林友明) 議長がもう既に委員会に付託したんですが、豊川財産区とほかの方の財産区との違いは何ですか。所管の委員会が違うということなんですが、この違いを説明願えますか。私は総務委員会ですが。

○議長(赤平末次郎) はい、伊藤部長。

○産業建設部長(伊藤賢志) 豊川財産区だけなぜ違うかということなんですけれども、豊川財産区の場合は山林事業、林業振興のための事業が主でございます。そのほかの飯田川の財産区というのは林業振興がそんなに主ではございません。あくまでも財産として財産区がただ、原野ですか、原野とか農地も含めますけれどもそのものが主で、林業振興事業が主ではございませんので、林業振興事業が主の豊川財産区については産業建設部ということでございます。

以上です。

○議長(赤平末次郎) ただいまの説明でよろしゅうございますか。

○37番(小林友明) このことについては議運で検討されたんですか。議長さん、重ねて申し上げますが、別にほかの委員会のものを我々総務委員会によこせということじゃないんですから、ひとつそのことを間違いないようにお願いします。

○議長（赤平末次郎） これは議運で検討したはずでございます。議運の委員長、記憶にないですか。

○議会運営委員長（後藤一志） いいですか。23番です。

ちょっと内容のことまでは記憶にございませんけれども…。

○議長（赤平末次郎） 今、事務局から説明させます。

○議会事務局長（肥田野耕二） 議運ではこの財産区の関連等々ほどの委員会にするかということ配分しました。この内容については私ども当局の方とも確認を致しまして、先ほど伊藤産業部長がおっしゃいましたように林業等の部分、土地財産等の部分、中身に違いがあったというか、それで32号については所属の委員会にもっていったというような形で、今回、産業建設常任委員会にお願いしてあるということでございます。

○議長（赤平末次郎） 議案第37号、平成17年度潟上市水道事業特別会計予算（案）について、これの大綱について質疑を行います。これに質疑ございませんか。はい、6番菅原議員。

○6番（菅原 勉） 6番菅原ですが、市長の施政方針の16ページにも書かれている水道事業の関係でございますが、「将来的には、現在、簡水と上水道との統合、諸課題に対応するための指針づくりと構想を早急に策定する」とありますけれども、この運営の中身について、私、勉強不足ですが、この簡水と上水との違いはどういう形で運営されているのか。また、かつては雄物川の水、工業団地の水の供給等もいろいろ検討されてきた経緯もありますけれども、その点はどのような形で考えておられるのかちょっとお伺い致します。

○議長（赤平末次郎） 小林水道課長。

○水道課長（小林健一） 水道課長の小林でございます。

ただいまの菅原議員の質問でございますが、簡水と上水の違いについては、給水人口が3,000人未満の場合は簡易水道、それから5,000人を超える場合は上水道というふうに振り分けされております。

以上でございます。

○議長（赤平末次郎） はい、石川市長。

○市長（石川光男） ご質問の2番、2つ目の雄物川の件でございますが、これからの水源ですが、地下水は無限ではないと。しかも安全に関しても将来性は保証できないという観点から雄物川の水を使うということで、今現在、協議会をつくっております。これ

は秋田市も含めて男鹿南秋はもちろん旧山本の方も入って、国に働きかけておりますが、何せ初めての事業ということで国でも相当今検討中ではありますが、まだまだ時間はかかるということです。しかも事業費が何百億とかかるようなこともありますので、我々はもう一度協議会をつくって国の方へ働きかけてまいりたいという状況でございます。

○議長（赤平末次郎） はい、6番菅原議員。

○6番（菅原 勉） もう一つ追加ですが、地下水を利用することにつきましては昭和も天王も飯田川もみな同じだと思いますが、かつて昭和地区においては塩素によるマンガンの大量発生とこういうことがありまして、かなりの、十数億の投資を行った経緯がございますけれども、天王地区の上水、簡水に関する問題は一切起きていないんでしょうか。また、今後あるとすれば、それまたそういう対応をなさっていくのか、あわせてお願いします。

○議長（赤平末次郎） 小林水道課長。

○水道課長（小林健一） ご指摘のマンガンについてでございますが、おっしゃるとおり昭和町の地下水については、マンガンについては、今まで散々、今も苦情が大変来ている状態でございます。天王町の水道につきましても地下水が同じ、同じというか地下水を水源にしておる関係から、やっぱりマンガンは出ております。特に先般、追分地区の方に火災が発生したときですけれども、やはりマンガンが管に付着しているのが消防車等の急激な給水によってはがれ出して苦情がありました。

以上でございます。

それから、先ほどの簡水と上水道の関係で私間違っただけですが、5,000人以上が上水で5,000人未満が簡水ということでございますので、宜しく申し上げます。

○議長（赤平末次郎） よろしいですか。

ほかに質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（赤平末次郎） 質疑がないようですので、これにて質疑を終了致します。

議案第37号については、産業建設委員会に付託致します。

以上で本日の日程は全部終了致しました。よって、本日はこれにて散会致します。

なお、27日午前10時より本会議を再開致しますので、ご参集願います。

どうもご苦労さまでした。

午前10時47分 散会